

## 商工会の要望と町の方針を聞く(平成24年12月5日)

### 町政懇談会開催

地方経済には大変厳しい冬の時代が続いていますが、われわれが住むこの大木町の元気なまちづくりや特長ある商工業のさらなる振興を願って、商工会主催で懇談会が開催され、活発な意見が出された。

主な懇談内容は次のとおり。

- 地場産業育成の基本方針
- サスティナブルおおきの活動状況
- プレミアム商品券継続支援依頼
- 公共工事の入札制度改革と地元業者の育成
- 「おおき祭り」の今後の位置づけ

出席者:町長および関係課長、議長および関係議員、商工会会員および商工会事務局



懇談会のようす

## 平成24年度定期監査報告

平成24年11月19日から12月4日までの8日間で、町長部局(保育園)・出納室・水道係・教育委員会(各小中学校・給食センター・図書情報センター)・議会事務局・農業委員会事務局並びに大木町社会福祉協議会・大木町商工会・大木町土地改良区・大木町きのこ新品種開発研究協議会・(株)大木町健康づくり公社・(公社)大木町シルバー人材センター・(財)ひしのみ国際交流センター・(一社)サスティナブルおおきの財政支援団体の定期監査を行いました。

財務に関する事務及び事務事業の執行については、概ね適正と認められましたが、本町における出勤管理、各課横断的な課題解決に対する連携のあり方、指定管理者制度の本来の目的

に即した運用など様々な課題について監査を行ったところです。

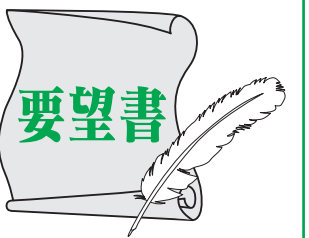
職員の皆さんには住民福祉向上のため、各種事業が効率的かつ効果的に実施されていることに感謝し、さらなる高みを目指して取り組まれることを切に期待しています。

大木町代表監査委員 川村 和正  
監査委員 中島 和正



大木小学校図書室の監査

## 県道水田・大川線道路改良(歩道整備)の促進要望



県道水田・大川線は、筑後市を起点として大木町、柳川市を經由し大川市へ至る幹線道路であり、沿線の地域住民の通勤、通学をはじめとする生活や経済産業活動に重要な道路である。

本町南部の大莞校区の大莞小学校では、この県道水田・大川線を通学道路として指定しており、現況幅員が狭く特に主要地方道大和・城島線高橋交差点より、一級町道八町牟田10号線三八松交差点までの区間は歩道が未整備のため、通勤、通学の児童や生徒、高齢者などの歩行者や自転車利用者には不測の事故が起こりかねない危険な状況となっている。

特に、近年、大型車両の通行が頻繁となっており、さらに危険性が増大している状況である。

平成24年度に緊急に対応する措置として簡易歩道(グリーンベルト)での対応がなされ一部改善されたが、抜本的な改善とはなっておらず、引き続き歩行者等と通行車両が交錯するなど危険な状況は変わらず、この区間の整備については、地元住民をはじめ学校関係者などの要望が特に強く、安全で安心できる地域の実現を図るためにも早期の歩道整備を強く要望する。



大莞小学校から筑後市方面を望むグリーンベルト

## 町民の声をとどける

### 大木町景観ワークショップ提言書を提出

2月から6月にかけて4回開催しましたワークショップにおきましては、町民の皆様の貴重な御意見をいただき誠にありがとうございました。

このたび、大木町議会として執行部に対し提言書を取りまとめ、去る11月7日に議員全員により町長へ提出しました。

提言書の内容は、町ホームページで公開していますのでご覧ください。



町長へとどけました